

令和3年度																					
講習の区分	<選択領域講習>受講者が任意に選択して受講する領域	講習時間数	6 時間																		
講習の名称	【選択】特別支援教育の意義と指導の在り方	講習形態	講義 (WEB配信)																		
開設者	長崎大学	定員	50名																		
開設日/時間	令和3年7月18日(日) / 9:25~17:00	会場	インターネットに安定して接続できる場所(職場もしくは自宅など)																		
履修認定対象職種	教諭・養護教諭	主な受講対象者	全学校種 教諭・養護教諭																		
担当教員(講習代表者) / Eメールアドレス/TEL 高橋 甲介(人文社会科学域) / Eメールアドレス: kosuket@nagasaki-u.ac.jp / TEL: 095-819-2404																					
担当教員(分担担当者等) 平田 勝政(長崎ウエスレヤン大学現代社会学部)、鈴木 保巳(人文社会科学域)、吉田 ゆり(人文社会科学域)																					
講習のねらい/講習方法/講習到達目標 講習のねらい: 特別支援教育に関して、意義、生理・病理学、心理学の各領域で追究されてきた成果を学習することで、最新動向を踏まえた教育支援のあり方について理解を深める。 講習方法: 各担当講師が2時間ずつ講習し(プリント資料を配付する)、担当講師の分野別に各20分間の筆記試験を行う。 講習到達目標: ・現在の特別支援教育の理念・目的・意義について理解する。 ・教育的支援に関して客観的視点の重要性を再認識する。具体的には、障害に関する生理・病理学、心理学について最新の知識を持つ。																					
講習内容(概要) /講習計画(時間毎の講習内容を含む) /キーワード 講習内容(概要) 障害に起因する様々な教育ニーズに適切に対応するために、特別支援教育の理念・目的と指導・支援のあり方について講義する。内容は①特別支援教育の意義、②特別支援教育の生理・病理学、③特別支援教育の心理学の3つで構成されています。 講習計画・内容																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容等</th> <th>時間</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オリエンテーション</td> <td>9:25~9:30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>講義1【特別支援教育の意義】 筆記試験20分 (途中休憩10分)</td> <td>9:30~11:40</td> <td>平田 勝政</td> </tr> <tr> <td>昼休憩</td> <td>11:40~12:30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>講義2【特別支援教育の生理・病理学】 筆記試験20分 (途中休憩10分)</td> <td>12:30~14:40</td> <td>鈴木 保巳</td> </tr> <tr> <td>講義2【特別支援教育の心理学】 筆記試験20分 (途中休憩10分)</td> <td>14:50~17:00</td> <td>吉田 ゆり</td> </tr> </tbody> </table>				内容等	時間	担当教員	オリエンテーション	9:25~9:30		講義1【特別支援教育の意義】 筆記試験20分 (途中休憩10分)	9:30~11:40	平田 勝政	昼休憩	11:40~12:30		講義2【特別支援教育の生理・病理学】 筆記試験20分 (途中休憩10分)	12:30~14:40	鈴木 保巳	講義2【特別支援教育の心理学】 筆記試験20分 (途中休憩10分)	14:50~17:00	吉田 ゆり
内容等	時間	担当教員																			
オリエンテーション	9:25~9:30																				
講義1【特別支援教育の意義】 筆記試験20分 (途中休憩10分)	9:30~11:40	平田 勝政																			
昼休憩	11:40~12:30																				
講義2【特別支援教育の生理・病理学】 筆記試験20分 (途中休憩10分)	12:30~14:40	鈴木 保巳																			
講義2【特別支援教育の心理学】 筆記試験20分 (途中休憩10分)	14:50~17:00	吉田 ゆり																			
キーワード (特別支援教育) (発達障害) (客観的評価) (個別の教育支援計画)																					
成績評価の方法	成績評価は、各講習担当者が行う試験の成績や講習中の課題への取り組み等から総合的に判断します。																				
成績評価の基準	成績評価は、到達目標達成点を100点とし、総合点で60点以上を合格とします。																				
履修認定の方法	成績評価の総合点で合格点に達した受講者に対して履修認定します。																				
教科書・教材・参考書	指定図書なし。当日プリント資料を配布します。参考書は当日提示します。																				
各自で準備するもの	YouTubeによる配信を行いますので、パソコン等の受信可能な機器を準備ください。																				
受講上の注意	<ol style="list-style-type: none"> 「講習の名称」が同じものは1度しか受講できません。 視聴障害や聴覚障害などのため、受講に際して特別な配慮が必要な方は、受講申込前に事務局へお問合せ下さい。 遅刻は原則として認めません。 																				